

会 長	亀井 良博	所在地	鳥取市若葉台南二丁目 16 番 1 号
事務局長	林 好人	TEL/FAX	0857-52-2616 / 0857-52-4119
設立年月日	平成 20 年 4 月 27 日	Mail	cc-wakabadai@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,331 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/wakaba-1
組織構成	会長・副会長 4 名・事務局長 1 名・理事 10 名・会計 1 名・監事 2 名・総務部・健康部・福祉部・環境部		

地域コミュニティ計画 『若葉台まちづくりランドデザイン』

- 策定時期 平成 22 年 7 月 18 日（平成 29 年 4 月 15 日 第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 12 月 10 日
- 目 標 「みんなでつくる顔の見えるまち・若葉台」

◆ 地域の課題

若葉台地区が誕生して 36 年を迎え、課題は高齢化・空家対策です。入居が早かった地区では、入居当時若かった方も既に 70 代～80 代となられ、高齢者・独居世帯が毎年増加しており、高齢者施設等への入居等で空家も増加しています。高齢者対策としては健康寿命延伸のためのフレイル教室、空き家対策としては、新たな環境整備プロジェクトの立上による、更なる魅力あるまちづくり。そして、高台に立地し近くに大きな河川が無い事で、水害に強い地域の特性を生かした安心・安全なまちづくりを目指すことで、地区外からの空家への入居を増やすことです。

◆ 主な活動内容

事業① ふるさとづくり「若葉台まちづくりランドデザイン」

住民ニーズに合致した「若葉台まちづくりランドデザイン」を平成 21 年度に策定し、その一つとして、若葉台地区の山林に、遊歩道を整備し、安全に散策のできるウォーキングコースを造り、毎年春に「里山ウォーキング」秋には若葉台地域をほぼ一周する「爽秋ウォーキング」を行っています。

事業② 若葉台 2 大イベント「若葉台地区ふるさと祭り」「WAKABADAI イリュージョン」

夏に開催の「若葉台ふるさと祭り」は、わかば若竹踊りを始め、やぐらや提灯など、地区住民の手づくりによる祭りとして平成 28 年度から開催しています。令和 2 年よりコロナ禍により中止していましたが、令和 5 年より再開し、多くの住民の皆様様の楽しみ場が復活しました。冬に開催の「WAKABADAI イリュージョン」は、平成 22 年度より開催しており、今年で 14 年目を迎えます。LED による幻想的な電飾の美しさは、地域のみならず地域外の方も楽しみにしておられる、大きなイベントとなっています。

事業③ 地域活性化「大池ふれあいロード復活プロジェクト」「バス停ベンチ設置事業」

令和 4 年度より 6 年間に渡るプロジェクトとして、遊歩道「大池ふれあいロード」に若葉台小学校 6 年生の原画を基にした壁画を作成、毎年 3 枚ずつ設置して行きます。これは、若葉台地域の中心に位置する「大池」を半周することが出来る「大池ふれあいロード」ですが、池側に鬱蒼と雑木が茂り、池を眺めながら散策することが出来ないため散策される方が減少、そこで、一人でも多くの方に散策して頂く事と、大池周辺の環境整備について関心を持っていただくための企画となっています。

かねてより、地域の皆様からバス停へのベンチ設置の要望があり、県立鳥取工業高等学校建設工学科 3 年生の皆様へ、作成についてご協力をお願いしていましたところ、令和 5 年 11 月に 5 基のベンチが完成し、生徒の皆様が創意・工夫された様々なベンチを、若葉台中央通りバス停へ設置しました。今後も引き続き地区内バス停へ設置することになっています。

◆ 今後の計画

新たな環境整備事業として、若葉台地区を象徴する「生山大池」周囲には、現在雑木が茂り、近寄りがたく、池全体を見渡すことも出来ない状況です。そこで地域の魅力づくりをさらにアップするために、公立鳥取環境大学の知恵と力を借り、各地域団体と連携して水辺の自然を整え、散策路の整備などに取組むための、環境整備プロジェクトを立上げます。